

## 新型コロナウイルス問題へのソラティオーラの対応

状況が日々刻々と変化している中で、4月5日、クラブのスタッフ9名が集まり、4月からの活動のあり方について話し合いました。その結果、以下の結論を得たのでソラティオーラ和歌山の会員の皆さまにご報告いたします。

### 判断のもととなった現状把握

- ◆和歌山県では、4月8日に学校が再開される見通しである。
- ◆海南市生涯学習課から、「屋内で50人以上が集まる行事、イベントの中止」の要請が出ているが、屋外活動については言及されていない。
- ◆施設の貸し出しが継続している。

### 判断の仕方

- ◆社会の状況とスポーツの役割のバランスを考える。
- ◆かなり安全側に寄って対応する。

### 結論

通常の活動をおこなうこととするが、感染のリスクを少しでも抑えるために次の点に注意する。この対応は、次の対応策を決定するまで継続する。

- ◆県外へ出での活動は行わない。
- ◆体育館を使用しない。
- ◆室内でのミーティングを行わない。
- ◆クラブ・バスを使用しない。
- ◆休校措置が取られた場合、当該学校の生徒は、ソラティオーラの活動に参加しない。

※会員全体会とアウトドア・パーティーの開催は、当面見合わせる。

今後も状況は、目まぐるしく変化していく可能性があります。その都度、ソラティオーラの活動はどうあるべきか、全スタッフで協議し、よりよい判断をしていきたいと考えています。